

第7回 長南町過疎対策検討委員会議事録（要旨）

平成25年4月19日（金）

庁舎分館2階第一会議室

18時30分から

出席者 過疎対策検討委員会委員8名 アドバイザー1名

傍聴者6名

事務局 石橋 常泉 唐鎌

会議資料

S委員：「このまんまじゃおいねえよ 長南町」啓蒙チラシ（修正分）

町：圏央道開通関連パンフレット

（長南町ゴルフ場キャンペーンチラシ）

1. 委員長あいさつ

前回の委員会であった質問事項について、町から説明をうけたのち協議に入ります。

2. 町：前回の検討委員会での質問事項に関する説明

Q1 圏央道開通にあたって、町では具体的な施策があるのかどうか。特に定期的に開催する「市」についてどう考えているか。

A1 圏央道の開通にあたり、町では約3か月（4月27日から7月31日）の間、町内ゴルフ場との提携によるキャンペーンを開催し、長南産コシヒカリのPRをしていくこととなっています。また、「市」の開催については、現在のところ考えていません。

Q2 納税通知書に空き家バンクに関するお願い等を記載できないか。

A2 様式が定められているため納税通知書には記載することはできませんが、例えばチラシを同封することまでは制約されていません。

Q3 皆さんで検討しているチラシの裏にアンケートを記載したらどうか。

A3 全町民に対するアンケートについては難しい状況にあります。しかし、過疎対策検討委員会に対する一般の方からの意見等については、何らかの手段を使って吸い上げることは可能であると考えています。

3. 検討・協議の内容

委員長：圏央道開通に併せ、町の考えているイベント・計画等の概要を伺いたい。

町：先週（4月13日）は茂原市・長生郡内6町村合同で、茂原北インターチェンジを会場とした開通プレイベントが開催されました。これ以前（4月6日）に長南町主催、長柄町・睦沢町協賛でのイベントを実施しました。今後は、4月27日に各首長が出席する開通イベントが予定されています。その後は、圏央道開通記念のゴルフ場キャンペーンが実施されます。また、イベントに関するものではありませんが、圏央道開通に伴い、高速バス乗り場が千田に新設されます。

委員長：商業、観光業などで、圏央道を活かした新たな計画はありますか。

町：現在のところはありません。開発については、民間の活力をお願いしたいということがあります。千田の交差点付近にスーパーが進出する計画があり、町ではその実現を期待していましたが、茂原にもスーパーができたこともあり、その状況が変わってきています。

委員長：委員から質問等ございますか。

S委員：圏央道開通に際してのイベントが開催されているが、毎年定期的に行われるというものではないですね。

町：圏央道の開通に合わせて開催されるもので、毎年開催されるものではありません。

S委員：1回だけというのは、その時だけで終わってしまうので継続性がない。この委員会の中で、「市」の復活は非常に大きいことだと考えている。あくまでも提案ではあるが、長南町の「市」を復活させて、それを継続的に行うことが長南町のアピールにもつながると思う。スーパーはどこにでもあるので、長南町の商店街の人たちが、圏央道の入口のところにアンテナショップのようなものをつくって、「市」のほうに流れてきたらいいなと考えている。ぜひ、「市」について考えてみることはできないか。

町：ある程度まとまった意見をいただいたのち、町で協議し、場合によっては議会の議決をいただかなければならないこともあるので、ここで即答をすることはできません。

I：検討委員会は、具体的な意見を言わないといけない。まだ熟していない意見があるので、それを深めていかなければならないと考えている。「市」の話はある程度意見が出て、その方向で皆さんで検討しようというところまで来ているので、自分たちで深めることは可能であると思う。次の段階

は、町と委員会で具体的に深めていくか、あるいは委員会から出てきたものを（町が）判定するのかが選択肢としてある。客観的にみる限り、商店街で突然やれと言っても無理だと思う。誰がどうするのか分からない。誰が責任を持ってやるのか分からない状態では。今は、ヒントが出た状態であるので、次の段階ではそれぞれの部会をつくって深めていくのがいい。

N委員：提案は具体的に深めたものでなければならない。「市」をどのように作っていくかを我々が考えて具体化していかなければならない。

S委員：やはり部会を立ち上げることが必要になる。それをするにあたって、町と一緒にやるのか、委員会だけでやるのかの選択をしなければならない。

I：そうすれば、それを決めて次の部会までに検討していただければいいと思う。原案として、委員会だけでつくっていてもいい。

委員長：今までいろいろありましたが、「市」「空き家の活用」「情報発信」の3点に絞られると思う。この3点についてそれぞれ部会をつくりまとめていきたい。

I：3つのグループの責任者を決めて進めたらどうか。責任者が取りまとめて次の会で諮ればいいと思う。

委員長：3部会の割り振りをします（○印が責任者）

「市」部会：○池田、佐久間、長谷川

「空き家」部会：○武田、西田、石田

「情報発信」部会：○白井、森山、田島

をお願いします。

委員長：いままで半年近くが過ぎて、意見等はたくさん出ていますが、その中から提言がなかなか見えてこない状況なので、第1回目の提言の取りまとめの時期を決めたいと思いますが。

N委員：来年（1月）の町長選挙を見込んだ中で、提言を出す時期も考えるべき。

M委員：短いスパンで完璧なものができるわけではないので、何回かやり取りし合って3か月位でまとめるといった方がいいのでは。

I：提言自体に、いま入っていない産業と福祉を入れるかという問題がある。私は入れるべきだと考える。

N委員：提言が総体として出てくると、単発で出てくるとでは見方がまったく違ってくる。提言を実現したいという思いを伝えるためには、まとめるのは早い方が良い。6月頃を目途にしたい。

委員長：第1回の提言の取りまとめを6月末とします。それまでにそれぞれの部会で、協議・検討して期限に間に合うように案をつくっていただきたいと思います。それまでに委員全員で集まるのは、3週間に1回といたします。今回は、5月10日（金）、18時30分に開催します。それまでに各部会でやり取りし合ってください、案を作ってくださいと思います。

T委員：そのほかの農業、企業誘致、福祉の3つの提言が集まった時点で初めて、町へ提言するのか、あるいは中間報告として出すのか、その点についての考え方は。

I：まずは全部揃っていた方が好ましいですが、詰め切れない問題が残ってしまった場合には、提言の中に入れた方がいいのか、外した方がいいのかは考えざるを得ない。

T委員：そうすると、並行して今の3つも検討していくのかも考えなければならぬ。

委員長：それは少しきついと思う。

T委員：町からすると、最初の3つだけ持ってこられても、まとまっていないものとして受け止められかねない。中間報告なら構わないと思う。

委員長：中間報告でいいと思う。

I：その部分は中間ということもできると思う。形だけ整えて、その部分はさらに詰めるということもできる。さしあたっては全部入れた形で6月に出す方向で行くべき。

委員長：6月に出す提言として、「市」「空き家」「情報発信」について煮詰めたものを提出し、「産業」「福祉」「企業誘致」については、「項目」のみ

をだす形で記載することとし、「産業」「福祉」「企業誘致」の内容を追加したものについては、3か月後の9月に仕上げるということによろしいですか。

委員異議なし

S委員からリーフレットについての説明

前回、過疎対策検討委員会の活動についての普及・啓発のため、第一弾のものを配布したが、全体的に見にくい部分があったので、修正版を作成した。内容は、カタカナ表記を漢字に置き換える等

I委員：これを町民に配布できますか。

町：区長さんを通じて配布することは可能であると思います。

T委員：判断は非常に難しいと思う。区長さん方も色々なお考えもあると思うが問題ないか。

町：検討委員さんは町長から委嘱していますし、委員会からの配付物であれば、個人的には可能であると思います。

T委員：持ち帰って、協議されたらいかがか。

委員長：白井委員さん、完成版を事務局に渡して協議してもらってください。これで今日の検討事項は終了しましたが、これまで色々な意見が出た中で、今後何を重点としてまとめていったらいいのかが漠然としていてはつきり把握できていないので、皆さんの意見を伺いたい。

I委員：農業が一番大きな問題を抱えている。

M委員：農業は環境問題にも、生きるための食べ物にも直結しているので最優先だと思う。

S委員：私も農業だと思う。特に無農薬の促進。これだけある田んぼを活かさない手はない。また、若者を定住させるには子育て支援が必要。

N委員：私立学校の誘致。環境を汚さないし、環境を保つことができる。環境がいいことが子供たちを呼びます。

委員長：他に何かありますか。

T委員：委員の2次募集を行うことになっていたかと思いますが、具体的に考えていますか。

委員長：ある程度詰まってきたので6月の提言までは、現状でいきたいと思います。

委員長：他にございますか。

なし

委員長：無いようですので、今日の検討会は以上で終了します。
(次回の委員会は、5月10日(金)18時30分から分館第一会議室で行います)

20:35 閉会